



2025年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔 I F R S 〕（連結）

2025年8月14日

上場会社名 株式会社ジーエヌアイグループ

上場取引所 東

コード番号 2160 URL <https://www.gnipharma.com>

代表者 （役職名）取締役代表執行役社長兼CEO （氏名）イン・ルオ

問合せ先責任者 （役職名）取締役執行役副社長COO兼CFO （氏名）松井 亮介

（TEL） 03-6214-3600

半期報告書提出予定日 2025年8月14日

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年1月1日～2025年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		中間利益		親会社の所有者に帰属する中間利益		中間包括利益合計額	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年12月期中間期	12,252	4.4	△1,179	—	△1,433	—	△2,342	—	△915	—	△5,596	—
2024年12月期中間期	11,733	△16.8	1,762	△67.8	831	△83.8	△73	—	330	△80.1	3,278	△33.3

	基本的1株当たり 中間利益	希薄化後1株当たり 中間利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期中間期	△18.19	△18.19
2024年12月期中間期	6.61	6.37

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	％	円 銭
2025年12月期中間期	67,722	38,313	35,269	52.1	697.70
2024年12月期	71,942	39,713	36,446	50.7	726.67

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	—	—	0.00	0.00
2025年12月期	—	—			
2025年12月期（予想）			—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年12月期の連結業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	28,733	21.7	23,217	—	22,541	—	15,868	—	12,058	997.9	240.42

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

新規 ー社 (社名)

除外 ー社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① IFRSにより要求される会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2025年12月期中間期	50,564,543株	2024年12月期	50,168,243株
2025年12月期中間期	13,643株	2024年12月期	13,550株
2025年12月期中間期	50,322,976株	2024年12月期中間期	49,924,587株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（中間期）

※ レビュー手続の実施状況に関する表示

第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料「1-(5)連結業績予想等の将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

また、当社は、2025年8月29日に、機関投資家・アナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。その説明会資料は、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績・財政状態に関する分析	2
(1) 経営成績に関する分析	2
(2) 財政状態に関する分析	4
(3) キャッシュ・フローの概況	4
(4) 研究開発活動	4
(5) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明	5
2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 要約中間連結財政状態計算書	6
(2) 要約中間連結損益計算書及び要約中間連結包括利益計算書	7
要約中間連結損益計算書	7
要約中間連結包括利益計算書	8
(3) 要約中間連結持分変動計算書	9
(4) 要約中間連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 要約中間連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(作成の基礎)	12
(セグメント情報)	12
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績・財政状態に関する分析

（1）経営成績に関する分析

当中間連結会計期間における世界経済は、中東情勢の悪化や、米国トランプ政権による関税引き上げなど、不確実性が高い状態が続いたものの全体としては底堅く推移いたしました。我が国においても、関税政策等による先行き不透明感が見られたものの、企業業績はおおむね安定した成長を保ち、訪日外国人旅行者数も引き続き高水準を維持しました。当社が属するバイオテクノロジーセクター及び東証グロース市場につきましては、2025年4月以降プライム市場とスタンダード市場のパフォーマンスを上回り、外需株から内需株にシフトしたことや東証グロース市場の上場維持基準を引き上げる方針を発表したことが追い風となりました。

このような状況下において、株式会社ジーエヌアイグループ（以下「当社」）及びその関係会社（以下合わせて「当社グループ」）は、グローバル中堅製薬企業となることを目指し、引き続き革新的な医薬品の研究開発、製造、販売に取り組んでおります。

製薬及び創薬事業におきまして、当社グループの主要子会社であるGyre Pharmaceuticals Co., Ltd.（北京コンチネント）（以下「GYRE Pharmaceuticals」）は希少疾患分野（オーファンドラッグ）において、中国にて開発を進めていた慢性肝疾患（CLD）による血小板減少症と慢性特発性血小板減少症（ITP）の治療薬であるContiva（アパトロンボパグマレイン酸塩錠）を2025年3月に販売を開始いたしました。また、全身性硬化症に伴う間質性肺疾患（SSc-ILD）と進行性線維性間質性肺疾患（PF-ILD）の適応症をもつEtoel（ニンテダニブエシル酸塩ソフトカプセル）の製造販売に関する権利を2024年5月に取得し、2025年6月より販売を開始いたしました。GYRE Pharmaceuticalsは2025年6月までの3か月においてContivaとEtoelの売上はそれぞれ226百万円、242百万円となりました。ContivaとEtoelは今後も売上高の成長を見込んでおります。このほか、開発パイプラインとして、エーザイ株式会社よりライセンス供与された肺動脈性肺高血圧症（PAH）を対象としたF230の第1相臨床試験を2025年6月より開始しております。加えて、慢性閉塞性肺疾患（COPD）を対象としたF528は2026年にIND申請を予定しております。

2024年10月、GYRE Pharmaceuticalsは次期製品の有力な候補であるB型肝炎起因の肝線維症を適応としたF351の第3相臨床試験を中国にて完了し、2025年5月に第3相臨床試験の結果を発表いたしました。新薬承認申請（NDA）は2025年第3四半期に行う予定です。更に、米国ナスダック市場に上場する当社子会社のGyre Therapeutics, Inc.

（以下「GYRE」）は、MASH（代謝機能障害関連脂肪肝炎）起因の肝線維症を適応症とする治療薬の開発を進めており、現在GYREは本適応における第2相臨床試験を米国で開始するため米国規制当局への相談を含めた社内検討を行っております。GYREは現在の業績と市場見通しに基づき、2025年度通期の売上見通しを1億1,800万～1億2,800万ドル（約17,110百万円～18,560百万円）と据え置いております。なお、通期の想定為替レートは1米ドル＝145円としております。

2024年11月、米国及び中国を中心に革新的な新薬の研究開発を行っている米国子会社Cullgen Inc.（以下「Cullgen」）は、リバースマージャーによって米国ナスダック市場の上場会社となることを発表いたしました。上場した際には、GYREに続く2社目となります。

Cullgenは独自の標的タンパク質分解誘導技術プラットフォームuSMITE™（ubiquitin-mediated, small molecule induced target elimination）を活用した創薬に引き続き邁進しております。アステラス製薬株式会社（以下「アステラス製薬」）と革新的なタンパク質分解誘導剤創出に向けた共同研究及びオプション契約を締結しており、本戦略的提携におけるアステラス製薬との共同研究を進めております。

同社初のTRK分解剤の抗がん剤候補としてCG001419（開発番号）の臨床試験を中国にて進め、第1／2相臨床試験を開始しており、また、追加の適応症として急性及び慢性疼痛を対象とした第1相臨床試験を2025年1月にオーストラリアにて開始いたしました。更に、中国及び米国で開発を進めている悪性血液腫瘍（白血病）治療薬であるCG009301（開発番号）の第1相臨床試験を2025年4月より開始しております。他の複数のプログラムにつきましても、臨床試験開始を目指して研究開発を進めております。

医療機器事業に関しましては、メドテック（生体材料）事業において、Berkeley Advanced Biomaterials LLC（以下「BAB」）とBerkeley Biologics LLC（以下「BB」）を中心にBBは皮膚由来製品であるAccellodermや骨由来製品であるD-fiber等の製品開発を行うと同時に胎盤由来製品の大口受注を獲得しており、引き続き売上収益及び利益は好調に推移しております。

当社は2025年7月23日の取締役会の決議において海外募集による新株式発行を行い、差引手取概算額12,147百万円の資金調達を実施しました。この調達資金の使途に関しましては、F351の上市に向け今後の売上成長を見込む製薬事業を展開するGYRE Pharmaceuticalsの創業者及びファン드가保有する株式の取得に4,859百万円、さらなる需要増加が見込まれる医療機器事業を中心に事業拡大を目的とした国内外企業の買収資金として6,074百万円、及び、当社グループ内企業へ残額約1,214百万円の投融資資金に充当します。上記の資金使途は当社グループの成長を促すものであり、企業価値向上に寄与するものと考えております。

①セグメント別の経営成績

医薬品事業

当中間連結会計期間の医薬品事業セグメントの売上収益とセグメント損失は、それぞれ8,194,668千円（前年同期比10.4%減）、1,682,462千円（前中間連結会計期間は、1,086,200千円のセグメント利益）となりました。この医薬品事業セグメントの売上収益減少は、主にGYRE Pharmaceuticalsの主力製品であるアイスーリュイの売上収益減少によるものです。このセグメント利益の大幅な減少は、売上収益減少、Cullgenのリバースマージャー関連費用及び臨床試験の進展による開発費用の増加等の他、主に下記に記載しております前中間連結会計期間におけるGNI USAとの関係会社長期貸付金精算に伴う為替換算差額累積額の戻入益1,264,843千円の配分によるものです。

医療機器事業

当中間連結会計期間の医療機器事業セグメントの売上収益とセグメント利益は、BBの売上収益が好調に推移したため、それぞれ4,057,658千円（前年同期比56.7%増）、502,923千円（前年同期比25.6%減）となりました。このセグメント利益の減少は、主に下記に記載しております前中間連結会計期間におけるGNI USAとの関係会社長期貸付金精算に伴う為替換算差額累積額の戻入益358,057千円の配分によるものです。当該配分額の影響を除くと、医療機器事業自体のセグメント利益は順調な伸長となりました。

前中間連結会計期間におけるGNI USAとの間の関係会社長期貸付金に係るその他の収益の計上

GNI USAとの間の関係会社長期貸付金精算に伴う為替換算差額累積額の戻入益1,622,900千円（2024年1月18日適時開示しております。）について、下記の通り医薬品事業及び医療機器事業への売上収益に基づく配分を行っております。

医薬品事業	： 1,264,843千円
医療機器事業	： 358,057千円
合計	： 1,622,900千円

②販売費及び一般管理費並びに研究開発費

(単位：千円)

	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間	差額
販売費及び一般管理費	△7,117,436	△7,995,729	△878,293
人件費	△2,717,379	△2,862,212	△144,833
研究開発費	△1,419,327	△1,596,527	△177,200

当中間連結会計期間の販売費及び一般管理費は、7,995,729千円（前年同期比12.3%増）となりました。この販売費及び一般管理費の増加は、主にCullgenの上場関連費用によるものです。

当中間連結会計期間の研究開発費は、1,596,527千円（前年同期比12.5%増）となりました。この研究開発費の増加は、主にCullgenにおける臨床試験前と臨床試験の進展によるものです。

③金融収益及び金融費用

(単位：千円)

	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間	差額
金融収益	371,879	539,301	167,422
金融費用	△1,343,366	△794,831	548,534

金融収益

当中間連結会計期間の金融収益は、539,301千円（前年同期比45.0%増）となりました。この金融収益の増加は、主に為替差益の増加によるものです。

金融費用

当中間連結会計期間の金融費用は、794,831千円（前年同期比40.8%減）となりました。この金融費用の減少は、主に為替差損の減少によるものです。

（2）財政状態に関する分析

連結財政状態

（単位：千円）

	前連結会計年度	当中間連結会計期間	差額
資産合計	71,942,909	67,722,176	△4,220,733
負債合計	32,229,009	29,408,573	△2,820,435
資本合計	39,713,900	38,313,602	△1,400,298

資産合計

当中間連結会計期間末における資産合計は、67,722,176千円（前連結会計年度末比5.9%減）となりました。この資産の減少は、主にその他の金融資産（流動）の減少によるものです。

負債合計

当中間連結会計期間末における負債合計は、29,408,573千円（前連結会計年度末比8.8%減）となりました。この負債の減少は、主に短期借入金の減少によるものです。

資本合計

当中間連結会計期間末における資本合計は、38,313,602千円（前連結会計年度末比3.5%減）となりました。この資本の減少は、主にその他の資本の構成要素の減少によるものです。

（3）キャッシュ・フローの概況

連結キャッシュ・フロー

（単位：千円）

	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間	差額
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,467,673	△931,711	535,961
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,522,132	632,116	6,154,248
財務活動によるキャッシュ・フロー	△185,598	1,409,490	1,595,088

営業活動によるキャッシュ・フロー

当中間連結会計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、931,711千円の支出（前中間連結会計期間は、1,467,673千円の支出）となりました。これは主に、法人所得税の支払額の減少によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フロー

当中間連結会計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、632,116千円の収入（前中間連結会計期間は、5,522,132千円の支出）となりました。これは主に、差入保証金・敷金の減少による収入によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フロー

当中間連結会計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、1,409,490千円の収入（前中間連結会計期間は、185,598千円の支出）となりました。これは主に、非支配持分からの払込による収入によるものです。

（4）研究開発活動

〔創薬研究活動〕

当社グループの創薬研究では、Cullgenを中心に革新的な新規開発候補化合物（NCE）の開発を目指しております。Cullgenは、がん、疼痛、及び自己免疫疾患に対する酵素及び非酵素タンパク質を標的とした複数の新規化合物を含む創薬パイプラインの拡充のための研究開発を進めております。

2023年6月に、Cullgenはアステラス製薬と、革新的なタンパク質分解誘導剤創出に向けた共同研究及びオプション契約を締結いたしました。本戦略的提携において、両社は新規E3リガンドを活用したCullgen独自の技術プラットフォームuSMITE™とアステラス製薬の創薬及び商業化能力を融合し、複数の標的タンパク質分解誘導剤の創出を目指します。Cullgenとアステラス製薬は臨床開発対象の化合物を見出すための共同研究を行い、アステラス製薬は見出された分解剤の開発及び商業化を担います。乳がんやその他の固形がんを対象として、アステラス製薬が同定したリードプログラムである細胞周期タンパク質に対する分解誘導剤候補化合物も含むアステラス製薬との共同研究を進めております。

〔開発活動〕

■アイスーリュイ〔中国語：艾思瑞®、英語：ETUARY®（一般名：ピルフェニドン）〕－GYRE Pharmaceuticals
GYRE Pharmaceuticalsは、アイスーリュイの適応を以下の疾患に拡大する臨床試験を進めております。

- ・糖尿病腎症（DKD）：第1相完了、今後の進め方を中国当局と継続協議中
- ・結合組織疾患（CTD-ILD）を伴う間質性肺疾患（全身性硬化症（強皮症、SSc-ILD）と皮膚筋炎（DM-ILD））：第3相臨床試験継続中
- ・じん肺治療薬（Pneumoconiosis, PD）：第3相臨床試験継続中
- ・免疫関連肺炎（CIP）の有無にかかわらない放射線誘発性肺障害（RILI）：2025年下半年にアダプティブ・デザイン第2/3相臨床試験を開始予定

■F351（一般名：ヒドロニドン）－GYRE Pharmaceuticals及びGYRE

F351は肝線維症向け治療薬候補として、当社グループの医薬品ポートフォリオにおける重要な新薬候補であり、世界の主要医薬品市場への参入に向けた戦略において非常に重要なものとなります。F351は、ブロックバスター（一般的に年間売上高が10億ドルを超えるとされる医薬品）と期待される新薬候補です。

GYRE Pharmaceuticalsは2024年10月、中国におけるB型慢性肝炎に起因する肝線維症患者を対象とした第3相臨床試験を完了し、新薬承認申請（NDA）を2025年第3四半期に行う予定です。

GYREは、F351のMASH（代謝機能障害関連脂肪肝炎）に伴う肝線維症の第2相臨床試験を米国で開始するため米国規制当局への相談を含めた社内検討を行っております。

■F573（急性肝不全（ALF）・慢性肝不全の急性増悪（ACLF）治療薬）－GYRE Pharmaceuticals

急性肝不全（ALF）や慢性肝不全の急性増悪（ACLF）の治療薬として、F573の第2相臨床試験を中国にて実施しており、2026年12月末までに完了する予定です。

■F230（肺動脈性肺高血圧症治療薬）－GYRE Pharmaceuticals

F230は、肺動脈性肺高血圧症の治療薬です。2024年5月に、GYRE Pharmaceuticalsは中国においてINDの承認を受け、2025年6月に第1相臨床試験を開始いたしました。

■F528（慢性閉塞性肺疾患（COPD）治療薬）－GYRE Pharmaceuticals

F528は、複数の炎症性サイトカインを抑制する新規の抗炎症剤であり、慢性閉塞性肺疾患（COPD）の進行を軽減する可能性のある新薬候補として中国にて2026年にIND申請を予定しております。

■CG001419（TRK分解剤）－Cullgen

CG001419は、業界初の選択的かつ強力な標的タンパク質分解誘導剤を活用した経口剤として開発を進めております。2023年7月に、同社初となる第1／2相臨床試験を中国にて開始いたしました。また、2025年1月に急性及び慢性疼痛を対象とした第1相臨床試験をオーストラリアにて開始いたしました。

■CG009301（悪性血液腫瘍（白血病）治療薬）－Cullgen

CG009301は、GSPT1タンパク質を標的とした新規の分解薬であり、2024年10月に国家薬品监督管理局（NMPA）によりINDが承認され、2025年4月に第1相臨床試験を開始いたしました。

（5）連結業績予想等の将来予測情報に関する説明

2025年2月14日に公表いたしました連結業績予想から修正しておりません。

2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約中間連結財政状態計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当中間連結会計期間 (2025年6月30日)
資産		
非流動資産		
有形固定資産	5,696,491	5,202,097
使用権資産	1,559,345	1,527,049
のれん	15,994,981	14,666,004
無形資産	11,026,585	11,268,661
持分法で会計処理されている投資	386,978	360,559
繰延税金資産	2,234,803	2,129,756
その他の金融資産	5,764,350	5,075,942
その他の非流動資産	56,730	69,964
非流動資産合計	42,720,266	40,300,037
流動資産		
棚卸資産	2,529,642	3,383,760
営業債権及びその他の債権	6,236,284	5,673,462
その他の金融資産	9,291,037	7,078,558
その他の流動資産	1,050,642	761,439
現金及び現金同等物	10,115,037	10,524,916
流動資産合計	29,222,643	27,422,138
資産合計	71,942,909	67,722,176
負債及び資本		
非流動負債		
借入金	1,200,000	1,000,000
リース負債	735,590	735,337
繰延税金負債	2,171,430	2,047,733
その他の金融負債	15,454,160	14,832,646
その他の非流動負債	203,422	388,159
非流動負債合計	19,764,605	19,003,877
流動負債		
営業債務及びその他の債務	2,263,911	1,950,446
借入金	4,575,000	2,400,000
1年内返済予定の長期借入金	400,000	400,000
リース負債	295,289	326,734
未払法人所得税	2,611,203	2,710,737
その他の金融負債	888	4,495
その他の流動負債	2,318,111	2,612,282
流動負債合計	12,464,403	10,404,696
負債合計	32,229,009	29,408,573
資本		
資本金	13,276,700	13,463,507
資本剰余金	6,626,254	8,874,885
自己株式	△15,372	△15,629
利益剰余金	9,888,797	8,973,417
その他の資本の構成要素	6,669,736	3,973,112
親会社の所有者に帰属する持分合計	36,446,115	35,269,293
非支配持分	3,267,785	3,044,309
資本合計	39,713,900	38,313,602
資本及び負債の合計	71,942,909	67,722,176

（2）要約中間連結損益計算書及び要約中間連結包括利益計算書

要約中間連結損益計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2024年 1 月 1 日 至 2024年 6 月30 日）	当中間連結会計期間 （自 2025年 1 月 1 日 至 2025年 6 月30 日）
売上収益	11,733,821	12,252,326
売上原価	△2,165,775	△3,418,539
売上総利益	9,568,045	8,833,786
販売費及び一般管理費	△7,117,436	△7,995,729
研究開発費	△1,419,327	△1,596,527
その他の収益	1,909,702	322,074
その他の費用	△1,178,841	△743,143
営業利益（△損失）	1,762,142	△1,179,539
金融収益	371,879	539,301
金融費用	△1,343,366	△794,831
持分法による投資利益	40,735	1,118
税引前中間利益（△損失）	831,391	△1,433,950
法人所得税費用	△905,241	△908,797
中間利益（△損失）	△73,850	△2,342,747
中間利益（△損失）の帰属		
親会社の所有者	330,126	△915,380
非支配持分	△403,976	△1,427,367
1株当たり中間利益（△損失）		
基本的1株当たり中間利益（△損失）（円）	6.61	△18.19
希薄化後1株当たり中間利益（△損失）（円）	6.37	△18.19

要約中間連結包括利益計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2024年1月1日 至 2024年6月30日）	当中間連結会計期間 （自 2025年1月1日 至 2025年6月30日）
中間利益（△損失）	△73,850	△2,342,747
その他の包括利益		
純損益にその後に振替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	3,312,725	△3,226,358
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	39,829	△27,469
その他の包括利益合計	3,352,555	△3,253,827
中間包括利益合計	3,278,705	△5,596,575
中間包括利益の帰属		
親会社の所有者	3,887,790	△3,924,276
非支配持分	△609,085	△1,672,298

（3）要約中間連結持分変動計算書

前中間連結会計期間（自 2024年1月1日 至 2024年6月30日）

（単位：千円）

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素		
					新株予約権	在外営業活動 体の換算差額	合計
2024年1月1日残高	13,052,056	7,397,974	△15,302	8,790,563	1,503,717	3,065,405	4,569,122
中間利益（△損失）	—	—	—	330,126	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	—	3,557,663	3,557,663
中間包括利益合計	—	—	—	330,126	—	3,557,663	3,557,663
連結範囲の変動	—	—	—	—	—	—	—
支配継続子会社に対する持分 変動	—	△1,084,011	—	—	—	△55,221	△55,221
新株の発行	166,898	166,898	—	—	—	—	—
株式報酬取引	—	—	—	—	36,203	—	36,203
新株予約権の発行	—	—	—	—	326	—	326
新株予約権の行使	—	—	—	—	△74,382	—	△74,382
新株予約権発行費用	—	—	—	—	△3,998	—	△3,998
所有者との取引額合計	166,898	△917,113	—	—	△41,850	△55,221	△97,071
2024年6月30日残高	13,218,954	6,480,860	△15,302	9,120,690	1,461,866	6,567,848	8,029,714

	親会社の所有 者に帰属する 持分	非支配持分	資本合計
	合計		
2024年1月1日残高	33,794,414	2,710,053	36,504,467
中間利益（△損失）	330,126	△403,976	△73,850
その他の包括利益	3,557,663	△205,108	3,352,555
中間包括利益合計	3,887,790	△609,085	3,278,705
連結範囲の変動	—	91,244	91,244
支配継続子会社に対する持分 変動	△1,139,232	988,857	△150,375
新株の発行	333,796	—	333,796
株式報酬取引	36,203	—	36,203
新株予約権の発行	326	—	326
新株予約権の行使	△74,382	—	△74,382
新株予約権発行費用	△3,998	—	△3,998
所有者との取引額合計	△847,287	1,080,102	232,814
2024年6月30日残高	36,834,916	3,181,070	40,015,987

当中間連結会計期間（自 2025年1月1日 至 2025年6月30日）

（単位：千円）

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素		
					新株予約権	在外営業活動 体の換算差額	合計
2025年1月1日残高	13,276,700	6,626,254	△15,372	9,888,797	1,616,839	5,052,896	6,669,736
中間利益（△損失）	—	—	—	△915,380	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	—	△3,008,896	△3,008,896
中間包括利益合計	—	—	—	△915,380	—	△3,008,896	△3,008,896
支配継続子会社に対する持分 変動	—	2,061,805	—	—	—	—	—
新株の発行	188,000	188,000	—	—	—	—	—
株式発行費用	△1,192	△1,192	—	—	2,385	—	2,385
株式報酬取引	—	—	—	—	370,216	—	370,216
新株予約権の発行	—	—	—	—	10,440	—	10,440
新株予約権の行使	—	—	—	—	△66,782	—	△66,782
新株予約権発行費用	—	—	—	—	△3,969	—	△3,969
新株予約権の失効	—	18	—	—	△18	—	△18
自己株式の取得	—	—	△257	—	—	—	—
所有者との取引額合計	186,807	2,248,631	△257	—	312,272	—	312,272
2025年6月30日残高	13,463,507	8,874,885	△15,629	8,973,417	1,929,112	2,044,000	3,973,112

	親会社の所有 者に帰属する 持分	非支配持分	資本合計
	合計		
2025年1月1日残高	36,446,115	3,267,785	39,713,900
中間利益（△損失）	△915,380	△1,427,367	△2,342,747
その他の包括利益	△3,008,896	△244,930	△3,253,827
中間包括利益合計	△3,924,276	△1,672,298	△5,596,575
支配継続子会社に対する持分 変動	2,061,805	1,448,822	3,510,627
新株の発行	376,001	—	376,001
株式発行費用	—	—	—
株式報酬取引	370,216	—	370,216
新株予約権の発行	10,440	—	10,440
新株予約権の行使	△66,782	—	△66,782
新株予約権発行費用	△3,969	—	△3,969
新株予約権の失効	—	—	—
自己株式の取得	△257	—	△257
所有者との取引額合計	2,747,454	1,448,822	4,196,277
2025年6月30日残高	35,269,293	3,044,309	38,313,602

（注）前連結会計年度において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2024年1月1日残高の遡及修正を行っています。

(4) 要約中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間利益 (△損失)	831,391	△1,433,950
減価償却費	419,755	541,884
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△657,775	135,573
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△97,070	△282,260
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△337,943	△1,063,525
賞与引当金増減額 (△は減少)	△50,713	△61,207
金融収益及び金融費用	330,181	605,376
有価証券評価損益 (△は益)	948,606	453,088
その他	△1,361,075	544,082
小計	25,356	△560,939
利息の受取額	201,543	207,075
利息の支払額	△39,488	△90,432
法人所得税の支払額	△1,655,085	△487,414
営業活動による正味キャッシュ・フロー	△1,467,673	△931,711
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	△1,253,523	31,750
有形固定資産の取得による支出	△304,800	△180,867
有形固定資産の売却による収入	—	114
無形資産の取得による支出	△414,750	△741,734
投資有価証券の取得による支出	△1,025,672	△13,065
投資有価証券の売却による収入	191,560	—
差入保証金・敷金の増加による支出	△2,714,945	△4,241
差入保証金・敷金の減少による収入	—	1,540,159
投資活動による正味キャッシュ・フロー	△5,522,132	632,116
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金増減額 (△は減少)	2,368,000	△2,175,000
長期借入金の返済による支出	△200,000	△200,000
新株予約権の発行による収入	326	10,440
非支配持分からの払込による収入	628,389	3,288,664
非支配持分からの子会社持分取得による支出	△3,269,100	—
新株予約権の行使による収入	474,660	652,856
リース負債の返済による支出	△187,874	△167,214
自己株式の取得による支出	—	△257
財務活動による正味キャッシュ・フロー	△185,598	1,409,490
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,848,584	△700,015
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△5,326,819	409,879
現金及び現金同等物の期首残高	21,633,028	10,115,037
現金及び現金同等物の中間期末残高	16,306,208	10,524,916

（５）要約中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（作成の基礎）

（１）IFRSに準拠している旨の事項

当社グループの要約中間連結財務諸表は、国際会計基準第34号「期中財務報告」に準拠して作成しております。

当社グループは、「連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和51年大蔵省令第28号）第1条の2に掲げる「指定国際会計基準特定会社」の要件を満たしていることから、同第312条の規定を適用しております。

本要約中間連結財務諸表には年次の連結財務諸表で要求される全ての情報が含まれていないため、2024年12月31日に終了した連結会計年度の当社グループの連結財務諸表と併せて利用されるべきものです。

（２）機能通貨及び表示通貨

当社グループの要約中間連結財務諸表は、当社の機能通貨である日本円を表示通貨としており、千円未満を切り捨てて表示しております。

（セグメント情報）

（１）報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち、分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、創薬及び製造販売事業である医薬品事業及び、医療機器事業を展開しております。医薬品事業では、医薬品の研究開発、製造、販売及び研究受託等を行っており、医療機器事業では、生体材料を含む医療機器の研究開発、製造及び販売を行っております。

各報告セグメントの主要な製品及びサービスは以下のとおりです。

報告セグメント	主要な製品及びサービス
医薬品事業	ETUARY®、Etoxel、Contiva、医薬品受託開発、その他医薬品、試薬
医療機器事業	生体材料、医療機器選任製造販売業者及び治験国内管理人サービス

(2) 報告セグメントの売上収益及び損益

当社グループの報告セグメント情報は以下のとおりです。

前中間連結会計期間（自 2024年1月1日 至 2024年6月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント			連結
	医薬品事業	医療機器事業	合計	
売上収益				
外部顧客への売上収益	9,145,014	2,588,807	11,733,821	11,733,821
計	9,145,014	2,588,807	11,733,821	11,733,821
セグメント利益	1,086,200	675,942	1,762,142	1,762,142
			金融収益	371,879
			金融費用	△1,343,366
			持分法による投資利益	40,735
			税引前中間利益	831,391

（注）セグメント利益は、要約中間連結損益計算書の営業利益を用いております。

当中間連結会計期間（自 2025年1月1日 至 2025年6月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント			連結
	医薬品事業	医療機器事業	合計	
売上収益				
外部顧客への売上収益	8,194,668	4,057,658	12,252,326	12,252,326
計	8,194,668	4,057,658	12,252,326	12,252,326
セグメント利益（△損失）	△1,682,462	502,923	△1,179,539	△1,179,539
			金融収益	539,301
			金融費用	△794,831
			持分法による投資利益	1,118
			税引前中間利益（△損失）	△1,433,950

（注）セグメント利益（△損失）は、要約中間連結損益計算書の営業利益（△損失）を用いております。

（重要な後発事象）

新株式発行

当社は、2025年7月23日付の取締役会の決議において、海外募集による新株式発行を行うことについて決議し、2025年7月24日に発行価格等を下記のとおり決定しております。なお、海外募集による新株式発行については、2025年8月8日に払込を受けており、資本金及び資本剰余金の額が増加しております。

海外募集による新株式発行

- ① 発行した株式の種類及び数：普通株式 5,000,000株
- ② 発行価格：1株につき2,651円
- ③ 発行価格の総額：13,255,000千円
- ④ 払込金額：1株につき2,518.45円
- ⑤ 払込金額の総額：12,592,250千円
- ⑥ 増加する資本金の額：6,296,125千円
増加する資本剰余金の額（概算）：5,987,626千円
- ⑦ 払込期日：2025年8月8日
- ⑧ 受渡期日：2025年8月12日

資金の使途

本海外募集の差引手取概算額12,147,600千円（払込金額の総額12,592,250千円から発行手数料等444,650千円を差し引いた金額）については、以下のとおり充当する予定です。

- ①非支配株主が保有するGyre Pharmaceuticalsの株式約30%（議決権ベース）のうち、約10%の取得対価として、2026年12月末までに4,859,040千円を充当する予定です。
- ②医療機器事業を展開する国内外企業の買収を含む将来のM&A資金として、2027年12月末までに6,073,800千円を充当する予定です。
- ③既存の当社グループ内企業への投融資のため、2026年12月末までに残額約1,214,760千円を充当する予定です。